

五泉進路だより 虹の架け橋



進路だより

平成31年3月14日発行

県立五泉特別支援学校

進路指導部

高等部3年生の進路について

【祝】卒業、就労おめでとうございます

企業就労

- ・まおろしの郷（清掃作業）
- ・東蒲の里（清掃作業）

福祉的就労・サービス利用

- ・たんぼぼ（就労移行支援、就労継続支援B型）
- ・自立就労センターいずみ（自立訓練）
- ・さくらの里（就労継続支援B型）
- ・虹工房（就労継続支援B型）
- ・あっぷる（生活介護）
- ・フルールこすど（就労継続支援B型、生活介護）
- ・メイプルかめだ（就労移行支援）



高等部3年生は、自分の適性や仕事への意欲を確認しながら、たくさんの実習を重ねてきました。作業だけでなく、実習先への通勤や、職場の人とのコミュニケーションにも力を入れて取り組んできました。進路先はそれぞれ違いますが、自分の選んだ道で活躍することを願っています。

保護者の皆様におかれましては、進路選択・決定にあたり、大変多くのご協力をいただき、大変ありがとうございました。五泉特別支援学校として、全員、新しい進路に送り出せることに安堵しています。お子様の新しい環境での活躍を期待しています。

卒業後の「就労」と「生活」について

卒業後の生活は、学校での生活に比べて大きく変わります。悩み事・心配事、ストレス、あるいは生活習慣の乱れなどから体調を崩し、就労を続けることが難しくなることもあります。仕事だけでなく、「生活」についても気を配る必要があります。

生活上の課題は、健康、家庭、お金、余暇、交友関係など、人によってさまざまです。お子様の「生活」について、心配なことや解決すべきことを、本人と保護者、関係者でいねいに確認し、卒業後も安心して生活できるようにしていただきたいと思います。

もし、「就労」や「生活」、「利用サービス」において困ったことがありましたら、「相談支援事業所」の担当相談員さん、「障がい者就業・生活支援センターらいふあっぷる」の支援ワーカーさんに相談するとよいです。学校も、卒業後のアフターケアとして、定期的に進路先を訪問し、卒業生の様子を確認させていただきます。学校も、卒業後の相談窓口としてご活用ください。



次年度の職場実習に向けて

◆日々、意識する

高等部1、2年生は、次年度の職場実習について、個人懇談等ですでに話を聞いたり、希望を確認したりしています。職場実習は、ただの「働く体験」ではなく、卒業後の生活を想定して、通勤や実習先での様子、人とのかかわり方なども総合的にチェックします。これらのことは、普段の学校や家庭での生活習慣が大きく関わっており、実習でもその姿が表れます。「実習になったらがんばります。」「実習先ではしっかり取り組みます。」ではなく、日頃から規則正しく生活することを意識し、挨拶や身だしなみ、決まりを守ることはもちろん、高等部卒業後の「社会人」としての生活に向けて、積極的に取り組んでほしいです。

◆ご家庭で

保護者の皆様におかれましても、ご家庭で普段からお子様に、上記のような話をしていただき、お子様の「自立」に向けた支援をお願いいたします。お子様が具体的に進路について意識できるようになってきましたら、「働くこと」の良さ、厳しさ、大切さなどについても触れ、どのような仕事をしたいか、そのためにこれから身に付ける力は何かなどを、お子様と一緒に考える機会を設けてください。

◆自己選択・自己決定

卒業後の進路は、授業や職場実習で学んだこと、経験したことなどをもとに、お子様ご自身が決定するものです。お子様が適切な進路選択・決定ができるよう、在学中にたくさんのご経験したり、自分自身について振り返る機会を設けたりして、適性や希望を確かめてほしいと思います。

◆小学部・中学部では

進路についての情報は、早く知っておいて損はありません。小、中学部の保護者の皆様におかれましては、お子様の将来の生活について必要な情報を収集していただき、お子様の「自立」と「社会参加」に向けて、ご家庭でもできるところから少しずつ取り組んでいただきたいと思います。

来年度も、PTA学習会や進路だよりで、進路指導部から、進路に関する情報を発信していきます。ご参考にしていただきたいと思います。進路や職場実習につきまして、ご不明な点は、学級担任へお問い合わせください。



県立五泉特別支援学校
TEL 0250-43-4370
FAX 0250-43-1980
担当 進路指導部

